

令和7年度人間ドック等実施要領

健診名	定員	目的	対象者 * 地方職員共済組合員(以下「組合員」という。)	自己負担額 (消費税額を含む)	事業主体	服務取扱
特定年齢人間ドック	対象者全員	生活習慣病予防の一環として、疾病の早期発見・早期治療及び健康の保持増進を図る。	令和7年4月1日現在 30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、 55歳、59歳の組合員のうち希望者 * 申込みしない場合は定期健診の受診となる。	無	共済組合	職務専念義務免除
一般人間ドック	3,800人		令和7年4月1日現在 36歳以上の希望者 * 申込みしない場合は定期健診の受診となる。	健診料金から22,630円差し引いた額 ・ 料金は「令和7年度人間ドック等健診機関別参考情報」参照 ・ マイセクション事業参加券利用可 ・ 自己負担となるオプションについては医療機関に確認		
子宮がん検診	2,726人	早期発見・早期治療を図る。	女性組合員の希望者 * 定期健康診断又は人間ドック申し込まない場合は申込（受診）不可	無		
(マンモグラフィ) 乳がん検診	975人		女性組合員のうち、令和7年4月1日現在、40歳以上の偶数年齢者の希望者 * 定期健康診断又は人間ドック申し込まない場合は申込（受診）不可	条件に該当しない希望者は、自己負担で受診可。 ・ 料金・申込みは各医療機関に連絡し、確認。 ・ マイセクション事業参加券利用可		
骨粗しょう症検査	300人	骨粗しょう症の早期発見・早期治療を図る。	希望者 申込者多数の場合は抽選。 * 定期健康診断又は人間ドック申し込まない場合は申込（受診）不可	1,100円 ・ マイセクション事業参加券利用可		
被扶養配偶者ミニドック	450人	被扶養者の生活習慣病等の疾病予防・早期治療を図る。	令和7年4月1日現在35歳以上の被扶養配偶者で希望する者	健診料金から14,040円差し引いた額 ・ 料金は「令和7年度人間ドック等健診機関別参考情報」参照 ・ マイセクション事業参加券利用不可		

特定年齢人間ドックについては、前年度、やむを得ない理由で受診できなかった職員に限り、今年度受診対象となる場合があります（管理者から対象職員への連絡漏れ等、本人が受診対象と知りえない特殊な場合に限ります。休業や確認漏れ等は対象になりません）。
該当者がいる場合、本人ではなく衛生管理者等から職員健康支援課あて御相談ください。

1 職員別の受診対象検診

- 受診対象・対象外となるケースの詳細は、別紙1「令和7年度 職員別対象検診」参照。
- 労働安全衛生法により、定期健康診断は職員に受診の義務があります。
- 地方職員共済組合埼玉県支部が実施する人間ドック又は企業局健診を受診する場合は、定期健康診断を受診したこととなります。
- 今年度中の継続勤務又は任期予定が6か月未満の職員は受診対象外です。

2 申込期間・方法

(1) 本人による申込み

- **令和7年4月21日(月)から5月19日(月)17時まで**に、職員ポータル「各種システム」内の「健康管理システム」から申込みを行ってください。
- 申込期間内は変更可能ですが、申込期間後の変更はいたしかねます。
- 期限内に申込みがなかった場合（申込み忘れ、中途採用等理由は問いません）、定期健康診断のみの受診(*)となり、人間ドック等の追加申込みはお受けできません。期限厳守をお願いします。
*職員健康支援課で健康管理システムに一括登録します。
- 健康管理システムの入力方法については、[システム画面右上「操作説明」](http://kenkokanri.inside.pref.saitama.lg.jp/Kenko/pages/StkcHelp.aspx)(<http://kenkokanri.inside.pref.saitama.lg.jp/Kenko/pages/StkcHelp.aspx>)を参照してください。
- 申込後は操作が正常に行われたこと（システム「申込み状況」欄に「申込済」表示あり）を確認してください。

(2) 代行入力による申込み

- 県庁LANに接続するパソコンを利用できないなど、本人が直接パソコンにより入力できない場合や、派遣職員については、対象者の所属又は派遣元課で対象者本人の希望を取りまとめの上、健康管理システムにより申込みの代行入力をしてください。
- 代行入力対象となるケースは、別紙1「令和7年度 職員別対象検診」を参照してください。

(3) 注意点

- 人間ドック等を申し込む際は、必ず受診希望時期を指定してください（ただし、受診時期を保証するものではありませんので御了承ください）。
- **【重要】現時点で医療機関への予約申込みは厳禁です。医療機関への日程予約は、5月末予定の受診者の決定通知後をお願いします。**例年、受診決定前に医療機関に予約の電話をする職員がいますが、5月末の受診者決定まで各医療機関には名簿がなく、受診決定前に医療機関に連絡しても日程予約はできません。

(4) 健康管理システム申込画面に対象の健診が表示されない場合の対応

別紙3「健康管理システムに対象健診が表示されない場合の対応」を参照し、該当職員と所属の衛生管理者等で状況を確認のうえ、必要な対応をお願いします。

3 健診実施機関一覧・検査項目・自己負担金等

健診を実施する医療機関一覧及び各実施検査項目・自己負担金等詳細は、別紙2「検診項目一覧」（別紙2-1～別紙2-3の3種）及び別紙5「令和7年度人間ドック等健診機関別参考情報」のとおりです。

昨年度から変更がありますので、必ず今年度版を確認のうえお申し込みください。

4 健診の実施時期

令和7年6月1日から令和7年12月31日まで

- * 12月31日までに受診できず1月以降に受診する場合、健診料金は全額自己負担となります。
- * 昨年度まで再任用の選考に当たって提出をお願いしていた定期健康診断又は人間ドックの受診結果

については、今年度の選考から提出は不要となります。

5 その他

(1) 健康診断の結果の提供

共済組合に加入している職員の定期健康診断の結果については、高齢者の医療の確保に関する法律第27条に基づき特定健康診査等の適切かつ有効な実施を図るため、また、地方公務員等共済組合法第112条に基づき組合員等の健康の保持増進のため必要な事業の実施に当たり必要となる場合に限り、保険者（地方職員共済組合又は全国健康保険協会）へ提供します。

(2) 特定保健指導

高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき、保険者である地方職員共済組合埼玉県支部又は全国健康保険協会埼玉支部が、40歳以上の職員及び被扶養者を対象に特定保健指導を実施します。

人間ドック等申込みに際しての注意事項

- 受診対象・対象外となるケースの詳細は、別紙1「令和7年度 職員別対象検診」を参照してください。
- 検診を実施する医療機関一覧及び各実施検査項目・自己負担金等詳細は、別紙2「検診項目一覧」(別紙2-1～別紙2-3の3種)及び「令和7年度人間ドック等健診機関別参考情報」を参照してください

0 注意事項・お願い

- ① 人間ドック(一般・特定年齢)と併せて婦人科健診(子宮がん検診・乳がん検診)及び骨粗しょう症検査の受診を希望する場合、全て同じ医療機関での受診となります。
- ② 人間ドック(一般・特定年齢)を実施する医療機関のうち、**被扶養配偶者ミニドック、婦人科健診及び骨粗しょう症検査を実施していない機関があります。しかし、健康管理システムにはこれらを非表示とする機能がなく、申込みが可能となっています。**

実施しない健診に申し込んでも受診はできません(他の医療機関への振り替えもできません)ので、これらの健診を受診希望する場合は、「別紙2-2 令和7年度【医療機関別検診項目一覧表】」により実施の可否を確認のうえ、実施している医療機関にお申し込みください。

1 人間ドック受診を希望する皆様へ

- ① 一般人間ドックの自己負担額は、「令和7年度人間ドック等健診機関別参考情報」を参考にしてください。自己負担額には、マイセクション事業参加券が利用できます。
なお、人間ドックの健診料金は健診機関との契約上セット料金となっているため、健診当日の体調等により検査項目が少なくなった場合でも、自己負担金額は変更になりません。
- ② **人間ドック希望者(一般・特定年齢)で、併せて子宮がん検診又は乳がん検診を希望する方は、別途、子宮がん検診又は乳がん検診の申込みが必要です。**
下記「2 子宮がん検診・乳がん検診を希望する皆様へ」を確認のうえ、子宮がん検診又は乳がん検診の申込みをしてください。
- ③ 人間ドック希望者(一般・特定年齢とも)は、県の実施する胃検診・肺がん・大腸がん検診を受診できません(人間ドックの健診項目に、胃部X線・胸部X線・便潜血検査が含まれているため。)
- ④ 特定年齢人間ドックには、健診項目にC型肝炎抗体検査(希望者に実施)と、50歳以上の男性職員には前立腺がん検査(血液検査―腫瘍マーカー)※が含まれます。
※ 希望しない場合は、医療機関に申し出てください。

2 子宮がん検診・乳がん検診を希望する皆様へ

- ① **子宮がん検診又は乳がん検診の受診を希望する方(人間ドック(一般・特定年齢とも)希望者も含む。)は、それぞれの検診の申込みが必要です。**
子宮がん検診又は乳がん検診を希望する方は、必ず実施している健診機関・検診項目を確認の上、申込みをしてください。ただし、共済組合実施の人間ドック又は県実施の定期健康診断を受けない場合は、申し込み・受診いただけません。
- ② **乳がん検診のマンモグラフィーの対象者は、40歳以上の偶数年齢の方となります。**
40歳以上の偶数年齢の方でマンモグラフィーを希望する方は、「乳がん(マンモグラフィー)検診」

を申し込んでください。

- ③ 申込者多数の場合は、抽選により決定します。
- ④ 人間ドック（一般・特定年齢）と併せて婦人科健診（子宮がん検診・乳がん検診）の受診を希望する場合、全て同じ医療機関での受診となります。

3 骨粗しょう症検査を希望する皆様へ

- ① 実施している健診機関を確認の上、申し込んでください。ただし、共済組合実施の人間ドック又は県実施の定期健康診断を受けない場合は、申し込み・受診いただけません。
- ② 申込者多数の場合は、抽選により決定します。
- ③ 自己負担額（税込1,100円）があります。マイセクション事業参加券1枚（1,000円）が使えます。
- ④ 人間ドック（一般・特定年齢）と併せて骨粗しょう症検査の受診を希望する場合、全て同じ医療機関での受診となります。

4 被扶養配偶者ミニドックを希望する皆様へ

- ① 被扶養配偶者ミニドックの自己負担額は、「令和7年度人間ドック等健診機関別参考情報」を参考にしてください（マイセクション事業参加券は使用できません）。なお、人間ドックの健診料金は健診機関との契約上セット料金となっているため、健診当日の体調等により検査項目が少なくなった場合でも、自己負担金額は変更になりません。
- ② 実施している健診機関を確認の上、申し込んでください。
- ③ 対象者は、令和7年4月1日現在35歳以上の被扶養配偶者です。ただし、退職派遣（営利法人へ派遣等）職員の被扶養者は、申し込めません。
- ④ 被扶養配偶者ミニドックには婦人科検診（子宮がん）が含まれます（東松山市立市民病院及については、婦人科検診は含まれません。）
乳がん検診でマンモグラフィーを実施した場合は、自己負担となります。
- ⑤ 40～74歳の被扶養者が被扶養配偶者ミニドックを受診した場合は、健診機関から特定健診結果データを受領することで、特定健診を受診したものとみなされます。

5 その他

定期健康診断申込入力後に一般人間ドック又は特定年齢人間ドック申込に変更入力をした場合、婦人科検診については、再度申込入力が必要となります。

健診結果の取扱いについて

人間ドック・特定年齢人間ドック・子宮がん検診・乳がん検診・骨粗しょう症検査（以下「人間ドック等」という。）を受診すると、職員健康支援課（共済組合）は健診機関から健診結果を取得します。

しかし、健診結果の中には労働安全衛生法で定める定期健康診断等の健診項目（法定健診項目）以外の健診項目（法定外健診項目）も含まれているため、法定外健診項目の取得については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）に基づいて、原則として本人の同意を得る必要があります。

ついで、職員（共済組合員）の皆さんが健康管理を図るため主体的に人間ドック等を受診していることを踏まえ、人間ドック等を申し込むことにより、下記事項を確認した上で健診結果の取得について、同意をいただいたものと取り扱います。

なお、下記1及び2は「健康診断、健康相談等に関する健康管理情報の取扱要領」（平成28年4月1日改正）のうち、人間ドック等の健診結果に関して利用の目的、取得する健康管理情報の範囲等を要約したものです。

記

1 人間ドック等健診結果の利用目的

県（職員健康支援課）は、共済組合と連携して、職員の健康状態を把握し、健康管理医、保健師等による保健指導を行うとともに、適切な就業上の措置及び安全衛生対策を講じることを目的として、人間ドック等に関する健康管理情報を取り扱います。

2 人間ドック等健診結果の取得範囲

- ・人間ドック（一般・特定年齢）・・・健診機関が職員へ提供する健診結果と同じ情報
 - * 定期健康診断及び肺がん・大腸がん検診も、健診機関が職員へ提供する健診結果と同じ情報を取得します。詳細は、定期健康診断の実施通知でお知らせします。
- ・子宮がん検診・乳がん検診・骨粗しょう症検査・前立腺がん検査
 - ・・・判定区分（異常なし・経過観察・要精検等の区分）

3 人間ドック等健診結果の取扱内容

取扱者	健康管理システム上のデータ (取得範囲のデータ)
健診機関	職員健康支援課に送付 (データ処理、健康管理システムへの取り込み)
衛生管理者 (安全)衛生推進者	➤ 精密検査等の受診勧奨 ➤ 健康管理医の意見聴取 ➤ 職員健康支援課からの通知や案内について、本人への周知および受診・参加勧奨
職員健康支援課	➤ 健康状態の把握・二次保健指導等の事業での活用 ➤ 共済組合による特定健診項目の抽出・下記事業での活用 ・ 特定保健指導（40歳以上対象の保健指導） ・ 糖尿病予防プログラム ・ 健康度アップチャレンジ事業

4 被扶養配偶者ミニドックの健診結果の取扱い

40～74歳の被扶養者が被扶養配偶者ミニドックを受診した場合は、健診機関から特定健診結果データのみを取得します。

特定健診検査項目

①基本的な健診項目

項 目	備 考
既往歴の調査	服薬歴及び喫煙習慣状況調査を含む。
身長・体重及び腹囲	
BMIの測定	$BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$ の2乗
血圧の測定	
血中脂質検査	中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール
血糖検査	空腹時血糖又はヘモグロビンA1c (HbA1c)
肝機能検査	AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GT (γ -GTP)
尿検査	尿中の糖及び蛋白の有無

②詳細な健診項目

追加項目	備 考
貧血検査	赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値
心電図検査	
眼底検査	
血清クレアチニン検査	又はeGFRによる評価

健診結果の取扱いについて（派遣職員等）

人間ドック・特定年齢人間ドック・子宮がん検診・乳がん検診・骨粗しょう症検査（以下「人間ドック等」という。）を受診すると、職員健康支援課（共済組合）は健診機関から健診結果を取得します。

しかし、健診結果の中には労働安全衛生法で定める定期健康診断等の健診項目（法定健診項目）以外の健診項目（法定外健診項目）も含まれているため、法定外健診項目の取得については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）に基づいて、原則として本人の同意を得る必要があります。

ついては、派遣職員（共済組合員）の皆さんが健康管理を図るため主体的に人間ドック等を受診していることを踏まえ、人間ドック等を申し込むことにより、下記事項を確認した上で健診結果の取得について、同意をいただいたものと取扱います。

なお、共済組合の実施する人間ドック等を希望されない方は、県と派遣先団体との取り決め書に基づいて、派遣先団体の福利厚生制度（定期健康診断等）により受診していただくことになります。

記

1 人間ドック等健診結果の利用目的

県（職員健康支援課）は共済組合と連携して、職員の健康状態を把握し、健康管理医、保健師等による保健指導を行うとともに、適切な就業上の措置及び安全衛生対策を講じることを目的として、人間ドック等に関する健康管理情報を取扱います。

派遣職員の方が、共済が実施する健診を受診しているにも関わらず、派遣期間中の健診データが途切れてしまうことにより派遣から復帰後の健康管理に不都合の生じることのないよう、健診機関から健診結果を取得するものです。

2 人間ドック等健診結果の取得範囲

- ・人間ドック（一般・特定年齢）・・・健診機関が職員へ提供する健診結果と同じ情報
- ・子宮がん検診・乳がん検診・骨粗しょう症検査・・・判定区分（異常なし・経過観察・要精検等の区分）

3 人間ドック等健診結果の取扱者と流れ

人間ドック・特定年齢人間ドックについては、健診機関から健診結果を取得し、職員健康支援課（共済組合）の健康管理情報取扱者が、電算処理により健診結果をデータとして取り込みます。これにより、派遣から復帰後の健康管理システムには、派遣期間中に受診した人間ドック等の情報も表示されます。

また、40～74歳の組合員と被扶養者を対象に医療保険者である共済組合が特定健診・特定保健指導を実施しています。そこで、対象者のうち人間ドック等を受診した者については人間ドック等健診結果データから特定健診結果データを抽出し、生活習慣の改善の必要性が高い方に特定保健指導を実施します。

4 被扶養配偶者ミニドックの健診結果の取扱い

40～74歳の被扶養者が被扶養配偶者ミニドックを受診した場合、健診機関から特定健診結果データのみを取得します。

特定健診検査項目

①基本的な健診項目

項 目	備 考
既往歴の調査	服薬歴及び喫煙習慣状況調査を含む。
身長・体重及び腹囲	
BMIの測定	$BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$ の2乗
血圧の測定	
血中脂質検査	中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール
血糖検査	空腹時血糖又はヘモグロビンA1c (HbA1c)
肝機能検査	AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GT (γ -GTP)
尿検査	尿中の糖及び蛋白の有無

②詳細な健診項目

追加項目	備 考
貧血検査	ヘマトクリット値、血色素量、赤血球数
心電図検査	
眼底検査	
血清クレアチニン検査	又はeGFRによる評価

新がん検査について

がんは死亡原因の第1位！ がんの罹患は年齢が高くなるほど増加します。より精度の高い方法で早期発見・早期治療へとつなげることを目的として、人間ドックに新がん検査制度を導入しています。

検査の種類と実施方法

現在人間ドック（特定年齢人間ドックも含みます。）の中で実施している次の検査を、更に精密な検査に変えて受けることができます。

胃部X線検査の代わりに胃内視鏡検査を実施

胃内視鏡は、食道、胃、十二指腸の粘膜を直接観察する検査です。内視鏡を口から（鼻からを選択できる健診機関有り）挿入して、食道・胃・十二指腸を観察し、がんや潰瘍などの病変がないかどうかを確かめます。内視鏡検査では、粘膜の軽度の異常も直接観察することが可能です。必要に応じて、粘膜の一部を採取する検査（組織検査）を加えることもあります。

胸部X線検査の代わりに胸部ヘリカルCTを実施

胸部ヘリカルCTは、小さな肺がんを発見するのに有効な検査です。検査は寝台に横になり息を止め、X線を用いて撮影します。一回の息止めで肺全体を連続的に撮影することが可能で、ミリ単位で画像を作成します。肺がん以外に他の呼吸器や循環器など胸部の病気を見つけることが可能です。

便潜血検査の代わりに大腸内視鏡検査を実施

大腸内視鏡は、大腸粘膜を直接観察する検査です。最初に内視鏡を盲腸まで挿入し、引き抜きながら盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸まで観察をし、がんやポリープなどの病変がないかどうかを確かめます。

実施機関と料金・予約方法

★別紙2「検診項目一覧」（うち別紙2-2・別紙2-3）及び「令和7年度人間ドック等健診機関別参考情報」で御確認ください。

人間ドックと新がん検査を異なる健診機関で行うことはできません。

★マイセレクション事業券が使えます。

検査に掛かる料金は自己負担で、マイセレクション事業参加券を利用できます。退職派遣の方はマイセレクション券の配布がありませんので、現金での支払となります。

健診機関によっては人間ドック内の標準検査項目として胃内視鏡検査を実施する場合もありますが、その場合も胃内視鏡検査の検査料金は自己負担となります。御注意ください。

★ドック日程予約の際に直接医療機関へ申込。

人間ドックの受診者決定後、ドック予約の際に健診機関に直接申し込んでください。

なお、1日に検査可能な人数は限られます。希望者は早期の予約をお勧めします。